

Seisei Times No.5

聖星タイムズ
OCTOBER 2018



自分の中の新しい可能性を見つけ、「さらに上の選択肢」を目指そう

今号の聖星タイムズは、校長になって今年で3年目の重信明利先生へのインタビュー記事をお届けしましょう。30年間、「海の星」聖星「一筋の教員生活を送り、開学以来初の男性かつシスターでない校長となった重信先生。本校の現状と将来展望について、率直に語っていただきました。

—女子校から共学校への移行は順調に進んでいますね。

重信 男女の中学生に「聖星」という新たな選択肢ができ、生徒の応募数が格段に増えました。また、共学化に向けて本校の先生方が致団結して協力してくれたことも、成功の大きな要因だと言えます。

—女子校時代に比べて、校内の雰囲気は変わりましたか。

重信 生徒同士の仲がさらに良くなったように感じます。やはり、女子ばかりだと仲良しグループで固まりがちですが、男子が入ることでクラス全体のワイワイガヤガヤ感が増しますからね。それに、男子は女子に比べて子どもっぽさというか、頭の中がシンプルというか(笑)。教師から見ても素直で可愛げのある生徒が多いです(笑)。

—なるほど(笑)。そういう校内の明るい雰囲気を残したまま、今後は教育のさらなるレベルアップが必要と思われませんか。

重信 その通りです。もともと本校は「生徒の進路希望を叶える」ことで定評がありましたが、これからはもっと視野を広げて、「さらに上の選択肢」を目指せるよう指導していきたいと考えています。確かに、生徒が希望の進路へ行けるのは大切なこと。でも、「もう少し頑張ってもっとレベルの高い進路へ」という高い目標を、生徒にも保護者の方にも持つてもらいたいです。

—「少年少女よ、大志を抱け」ということですね。

重信 はい。学校生活の中で大事なことは、生徒自身が自分の中にある、新しい可能性に気付くこと。私たち教員は、その気付きをしっかりとサポートしなければなりません。そして生徒たちには、卒業後、「聖星高校で学んだから、この大学に行けたんだ」という本当の満足感を得てほしいと思っています。

—ところで、普段、校長先生が学校でどんな1日を過ごされているのか、生徒たちには興味があると思うのですが。

重信 特別なことは何もありません(笑)。今日はたまたま、先生方一人ひとりとこの面談がありましたけどね。



来年の授業計画の構想づくりのため、現場のリアルな情報を先生方から教えてもらいました。もともと、普段からは職員室に机を置いて執務していますので、先生方とのコミュニケーションに不自由はありません。また、ほとんどの先生は私のことを校長ではなく「重信先生」と呼んでおり、同僚の延長線上の「兄貴分」のような存在と思っっているようです(笑)。

—生徒たちとの触れ合いは。

重信 時々、授業中の教室をアポなし訪問することはありますが、私が行くとき生徒たちが気を使うので、基本的に自粛しています(笑)。また、部活はテニス部の副顧問をしており、サッカーやバスケの試合を応援に行くこともあります。まあ、私は昔のような威厳ある校長先生のイメージではないかもしれませんが、今後とも自然体で職務に取り組んでいきたいと思っています。

浜松聖星高校に昼が来た!みんなが楽しみのランチタイムに、重信校長はどんな「サラメシ(働く人の昼食)」を食べているのでしょうか?

初公開!!これが校長先生の「サラメシ」だ!

何と、校長先生は今流行りの“弁当男子”だったのです!この日のメニューは、豚肉のソテー、ゆで卵、ポテトサラダ、プチトマト、ゆかりご飯。「外食よりヘルシーで、節約にもなるのがお弁当のいいところ」と笑顔で語ります。校長先生のスマートな体型と、いつも穏やかな笑顔の秘訣は、手づくり弁当を取り入れた健康的な食生活にあるのかもしれませんが。



私はいつも弁当派。おかずは、ほとんど自分で作っています。

吹奏楽部

全国大会出場は 日頃の積み重ねの賜物

「吹奏楽の甲子園」とも評される全日本吹奏楽コンクールに、今年も4年連続6回目の出場を果たしました。全国大会への出場は、8月の東海吹奏楽コンクールで見事金賞を受賞したことによって獲得したものです。昨年の銅賞から確実に音楽性アップを評価された賜物なのです。

「私たち吹奏楽部は、コンクールのための部活動が目的ではありません。日々の一つひとつの演奏会で聴いてくださる方々を幸せにすること、その積み重ねがコンクールの成果に顕れるのだと思っています」。話すのは吹奏楽部音楽監督の土屋史人先生。言葉通り、4月に1年生新入部員を迎え新たなスタートを切ってから、さまざまなコンサートで多くの人たちに演奏を届けています。5月の浜松まつりでは、プロムナードコンサートで歌って踊って地元の聴衆を魅了。9月のオータムコンサートでは、当部卒業生で現在東京藝術大学別科在学中のユーフォニアム演奏家、山崎由貴さんをゲストに迎え、レパートリー豊かなプログラムを披露しました。

「多くの方々に応援していただいた喜びと感謝、日々の生活で向き合う感情や自分への試練を乗り越える時間、そういうすべてが演奏の柔軟性、音の響きにつながるのだと思います」と土屋先生。きっとこれからも、部員一人ひとりの成長によって、チーム全体の音もさらに進化していくことでしょう。



陸上競技部

3年梅組 平井美羽さん 女子800mでインターハイ出場

3年生の平井選手は6月に三重県伊勢市で開催された東海高校総体決勝で4位に入賞し、8月の第71回全国高等学校陸上競技対校選手権大会に出場。「高校3年間の陸上競技に有終の美を飾ることができました」とすがすがしい笑顔です。

平井さんは中学時代、走り幅跳びの選手でしたが、本校陸上部に入部してから中距離走に転向しました。それは陸上部顧問の土屋先生が彼女の素質を見出し、勧めたのがきっかけだったそうです。

以来、指導を受けながら走るフォームを調整しつつ、練習に没頭。800mで徐々に自己ベストを更新していきました。

「800mはラスト200mが一番苦しいですね。でも、練習した分、タイムになって顕れてくれるのがうれしくて」と平井さん。土屋先生も「辛くても逃げずに自分を追い込んで練習できるのが彼女の強み。後輩たちにも良い影響を与えてくれたと思います」と評価しています。

これまで陸上選手として、日頃から夜の炭水化物や糖分摂取を控えるなど、食事にも自分で気をつけてきたという平井さん。インターハイを最後に、陸上競技を卒業するとのこと。後輩たちにこんなメッセージを送ってくれました。「みんなからのメッセージや手紙を大切にしています。ありがとうございます。これからは自分の目標に向かってあきらめずに頑張る。努力はきっと報われるから！」。



Congratulations!

静岡県高等学校英語スピーチコンテスト(西部大会)
優勝 3年松組 尹藝燕さん



Campus Calendar

- 10月
 - 2日(火) 体育祭
 - 12日(金) 保育ふれあい体験
 - 22日(月) 2年生 チャペルアワー
 - 27日(土) 秋のオープンスクール
- 11月
 - 5日(月) 修学旅行(～11/9)
 - 8日(木) 1年生 チャペルアワー
 - 9日(金) キャンパスツアー(1年生特進)
 - 16日(金) 物故者追悼式
 - 17日(土) 2年生保護者対象 大学進学説明会
 - 24日(土) 秋のオープンスクール
 - 28日(水) クリスマスツリーの下で
- 12月
 - 8日(土) 入試説明会
 - 16日(日) 入試説明会
 - 23日(日) ステラサンクタクリスマス
- 1月
 - 23日(水) マラソン大会
- 2月
 - 2日(土) 保護者対象進路説明会
 - 24日(日) 吹奏楽部 第22回定期演奏会
 - 27日(水) 送別会
- 3月
 - 1日(金) 卒業証書授与式

同窓会 バザーへのお礼

平成30年6月9日(土) 浜松聖星高等学校のベリタスプラザに参加いたしました。同窓生やご家族よりたくさんのバザー品を提供していただき、賑やかに開催出来ました。晴天にも恵まれ、大変多くの方々が訪れて下さいました。売上金総額151,920円を、静岡新聞社の『愛の都市訪問』に寄付させていただきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

